人」がかっこいいと思ったんだと思う。

（アメリカのアクションものとは違いますか？）

Ｃさん：全然違う。「スパイダーマン」とかもアクションものと言えると思うけど。

Ａさん：そう。まず、戦う目的が違う。日本のアクションものは戦う目的も奥深い。だから話の続きがどんどん知りたくなる。

Ｂさん：私は「ヴァイオレット・エバー・ガーデン」が大好き。絵がきれいじゃないですか？

（すいません、全然知りません。）

Ｂさん：雰囲気はヨーロッパっぽい感じなんだけど、登場人物の考え方はとても日本的。そのギャップが面白い。

みんな：うん、うん！

Ｂさん：それに、海外ではアニメというと「楽しくて面白い」というイメージを持つ人もいるかもしれないけど、日本のアニメはメッセージ性が強くて、悲しい感じがするところも興味深い。

Ｄくん：メッセージ性という意味では「ワンピース」も面白いと思う。アニメは大好きだけど、実は自分は全体的にマンガのほうが面白いことが多いと思う。

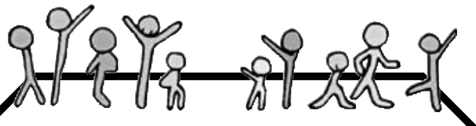
（そんなに違うんですね。）

Ａさん：違いますよ。両方を比べると、新しい発見があります。

他にも、「黒子のバスケ」「ノラガミ」「リトルウィッチアカデミア」「地獄少女」「メジャー」「ヒカルの碁」…など、たくさんのタイトルがあがっていました。

いかがでしょうか？　みなさんが考える「日本のマンガ・アニメの魅力」と同じですか？　それとも違いますか？　みなさんが好きなマンガやアニメのタイトルもこの中にありましたか？　このインタビューをしているとき、留学生たちは、皆とても楽しそうでした。そんな姿を見て、私まで嬉しくなりました。

文化が結ぶ絆は「強い」です。国と国、地域と地域との間に政治的、経済的、宗教的な問題があろうとも、文化は「強い」です。今後も多くの国や地域の文化に触れて、それを生み出した人々との交流を大切にしていきたいと思いました。最後に、留学生のみなさん、ありがとうございました！



ドバイ首長国とエミレーツ航空

国際コミュニケーション学部
田本　健一

ドバイ首長国（the Emirate of Dubai）は、ペルシア湾南岸、ホルムズ海峡近くに位置します。ドバイ首長国はアラブ首長国連邦（the United Arab Emirates）を構成する七つの首長国の一つです。中東にあって、近年経済発展が目覚ましく、大変注目されていて、アラビアの伝統的文化と融合している様子は、多くの観光客を魅了しています。治安については申し分なく、日本以上に安全な国との評価もあるようです。ドバ

イと言えば、砂漠、石油、真珠産業、スークと呼ばれる市場、超高層ビル、エミレーツ航空といったことが連想されると思います。本稿では、それらをキーワードにドバイを紹介します。

砂漠なんて砂だらけで、退屈そうで、暑そうで、なにもいいとこないじゃない？と思うかもしれませんが、ここに来たからには絶対体験してほしいのは砂漠ツアー、それも４WD に載せてもらってのデザート・サファリ―です。行けども行けども砂漠また砂漠です。そこで頼りになるのは４WD の運転手だけです。彼の意のままに砂漠の中をさまよう訳です。はるか彼方にラクダの隊列が見えたりするので、ラクダでツアーを楽しんでいる人もいるのでしょう。暑くて、だるいでしょうね。夕方になると砂漠の見晴らしのいいところに車を止めます。砂漠に沈む夕日を見るのです。釣瓶落としです。真っ暗にならないうちに砂漠から脱出しなければいけません。向かうところは、ディナーをいただくキャンプサイトです。囲みのなかでは、バーベキューの準備ができていて、中央のステージではやがてベリーダンスが始まります。

すべてが終わるとキャンプサイトの明かりが消され、満天の夜空の一際大きく感じる星々をしばらく鑑賞して、ホテルまで送ってもらいます。夢のようなアラブの一夜が過ぎてゆきます。

ジュメイラ・モスクは白いドームと空にそびえる二本の尖塔で有名なイスラム教の礼拝堂です。ここは、イスラム教徒でなくても入れます。ツアーで見学できるようになっています。イスラムの教えや礼拝についての説明があり、イスラム文化を理解できます。内装の幾何学模様も素晴らしいですね。堪能してもらいたいところです。

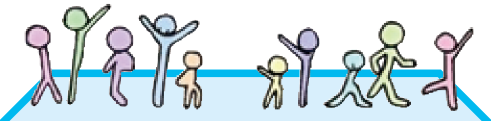
中東と言えば石油じゃぶじゃぶで、お金じゃぶじゃぶ、というイメージがあると思いますが、ドバイはそんなに石油がとれる国ではありません。ドバイの主要産業は天然真珠だった時期もありましたが、日本の養殖真珠に市場を奪われ、衰退してしまいました。ここ 20 ～ 30 年間で高

エミレーツ航空の cabin crew

まったドバイのビジネス拠点としての存在感は、石油に頼らない貿易の国へと戦略を転換してきたことにあります。ドバイモールやモール・オブ・ジ・エミレーツのような巨大ショッピングセンターでは世界のブランド品のウィンドウ・ショッピングが楽しめますし、世界の食材（最近では非イスラム教徒用の豚肉ハムなども）を購入できます。レストラン街では各国の料理が楽しめます。旅の疲れで、宿で日本食を食べたくなったら BENTOYA（www.bentoyadelivery.com）に電話で出前を注文するのもよいかも。107 種類の料理から選べます。ドバイのクリーク（運河）のまわりには古き良き町並みが残っています。そこにはドバイ 3 大スーク（souk）、つまり、オールド・スーク、スパイス・スーク、ゴールド・スークがあります。活気あふれる市場です。オールド・スークでは絹織物などの衣料品が所狭しとばかりに様々な品物が並べられています。スパイス・スークは文字通り、香辛料の市場です。ゴールド・スークで一生もののジュエリーを買うのもよいでしょう。5～6 万円ほどで買えるものもありますよ。頑張って値切りの交渉をしてみてはいかがでしょうか。

ドバイのインフラ発展を象徴するものとして、828m の世界一高いバージュ・カリファ（ブルジュ・ハリファ）があり、さらに高い 1,000m を超えるドバイ・クリーク・タワーを建設中です。ドバイの象徴、7 つ星の「ブルジュ アル アラブ」はペルシャ湾に浮かぶホテルです。そこの 27 階にある展望レストランではアフタヌーンティーを楽しむことができます（ちょっと高価ですね）。

1985 年という年はドバイにとって特別な年でした。「エミレーツ航空」が設立された年です。そのころは、アラブ首長国の国際線の代表権はアブダビにありました。そこで、自分の首長国の航空会社を作ろうではないかということから生まれたのが、「エミレーツ航空」なのです。当初は小さな航空会社でしたので、運用も大変だったようですが、早くも 1990 年代半ばから大きな国際航空会社へと躍進しました。2015 年には、ドバイ国際空港の旅客数は世界第 1 位になったということです。数十年で急発展してきたドバイで圧倒されながら、元気になりませんか？



ぶらり百済の旅

現代中国学部　藤森　猛

ここ 4～5 年、百済の文化に興味を持って、家族に付き添ってもらい日韓のお寺を参拝しています。百済の歴史を旅する入門コースを紹介します。

近肖古王をみる

韓国の王朝ものドラマ（DVD）の中で、百済の文化を知るなら『百済の王　クンチョゴワン』（2011 年、60 話）がおススメです。4 世紀、第 13 代の王として高句麗王を破って百済の全盛を築いた近肖古王（クンチョゴワン）が描かれています。ドラマでは百済文化の象徴である